

安定したコミュニティが自己肯定感に与える影響

岩田 涼花

要旨本文（文字数は自由）

近年の日本の子どもたちは、諸外国の子どもたちと比べて自己肯定感が低いと報告されている。その教育課題を受け、学校や教育現場では、自己肯定感を高めるための環境づくりや指導法に注目が集まっている。そこで、本論文は心身の成長に深く密接する教育現場である家庭環境・学校教育の 2 つをメインに安定したコミュニティの有無が与える自己肯定感への影響と自己肯定感を向上させる方法を明らかにする。

子どもから信頼される「重要な大人」である親や教師、そして信頼関係を築いた友人がいる「安定したコミュニティ」は、自分自身を肯定的な存在と捉えるために必要不可欠である。そして、その自己肯定感を向上させるためには、「重要な大人」や友人が自分を認めてくれた、受け入れてくれたという肯定的な経験を繰り返すことで、自分は唯一無二で大切な存在であると感じさせる環境づくりを提供することである。